【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成29年11月9日(2017.11.9)

【公開番号】特開2017-108431(P2017-108431A)
【公開日】平成29年6月15日(2017.6.15)
【年通号数】公開・登録公報2017-022
【出願番号】特願2017-13175(P2017-13175)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｗ　8/00　(2009.01)
Ｈ０４Ｗ　88/12　(2009.01)
Ｈ０４Ｗ　84/12　(2009.01)
Ｈ０４Ｍ　11/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｗ　8/00
Ｈ０４Ｗ　88/12
Ｈ０４Ｗ　84/12
Ｈ０４Ｍ　11/04

【手続補正書】
【提出日】平成29年10月2日(2017.10.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第一の識別子を用いて通信を行うアクセスポイントを制御する制御装置で実行される制御プログラムであって、
情報の提供元から提供される災害情報を取得する処理と、
取得した前記災害情報の通知元と、該災害情報で通知された災害種別、規模、および、発生地点の組み合わせを抽出する処理と、
設定を変更する条件を記憶するテーブルを参照して、前記組み合わせが設定を変更する条件に合致するアクセスポイントを特定する処理と、
特定したアクセスポイントに対する設定変更により使用を開始させる第二の識別子を特定する処理と、
前記アクセスポイントおよび前記第二の識別子を特定した場合、特定した前記アクセスポイントに前記第二の識別子の設定変更をさせるための指示を送出する処理と、
を制御装置に実行させる制御プログラム。
【請求項２】
前記第二の識別子を用いて、前記アクセスポイント経由で通信先と通信する端末と、前記通信先の間の経路に含まれる転送装置に対して、前記端末と前記通信先の間の通信が可能になるように設定を変更させる指示を送出する処理を
前記制御装置にさらに実行させることを特徴とする請求項１に記載の制御プログラム。
【請求項３】
前記災害情報の提供元が通知する情報の信頼性と、前記災害情報で通知された災害の規模または災害の警戒度とを用いて、災害設定の対象となるアクセスポイントを選択する処理を
前記制御装置にさらに実行させる請求項１または２に記載の制御プログラム。

【請求項４】
特定した前記アクセスポイントに対する前記設定変更の可否を確認する情報をユーザインタフェースに出力する処理をさらに実行し、
前記指示を送出する処理は、
前記ユーザインタフェースに前記設定変更の可否を確認する情報を出力してから経過した時間が所定の長さに達するまでに、前記可否を示す情報が入力されない場合、特定した前記アクセスポイントに前記設定変更をさせるための指示を送出する
ことを特徴とする請求項１～３のいずれかに記載の制御プログラム。
【請求項５】
第一の識別子を用いて通信を行うアクセスポイントを制御する制御装置が行う制御方法であって、
情報の提供元から提供される災害情報を取得し、
取得した前記災害情報の通知元と、該災害情報で通知された災害種別、規模、および、発生地点の組み合わせを抽出し、
設定を変更する条件を記憶するテーブルを参照して、前記組み合わせが設定を変更する条件に合致するアクセスポイントを特定し、
特定した該アクセスポイントに対する設定変更により使用を開始させる第二の識別子を特定し、
前記アクセスポイントおよび前記第二の識別子を特定した場合、特定した前記アクセスポイントに前記第二の識別子の設定変更をさせるための指示を送出する、
制御方法。
【請求項６】
第一の識別子を用いて通信を行うアクセスポイントを制御する制御装置であって、
情報の提供元から提供される災害情報を取得する取得手段と、
取得した前記災害情報の通知元と、該災害情報で通知された災害種別、規模、および、発生地点の組み合わせを抽出する抽出手段と、
設定を変更する条件を記憶するテーブルを参照して、前記組み合わせが設定を変更する条件に合致するアクセスポイントを特定するアクセスポイント特定手段と、
特定した該アクセスポイントに対する設定変更により使用を開始させる第二の識別子を特定する識別子特定手段と、
前記アクセスポイントおよび前記第二の識別子を特定した場合、特定した前記アクセスポイントに前記第二の識別子の設定変更をさせるための指示を送出する送出手段と、
を備える制御装置。